

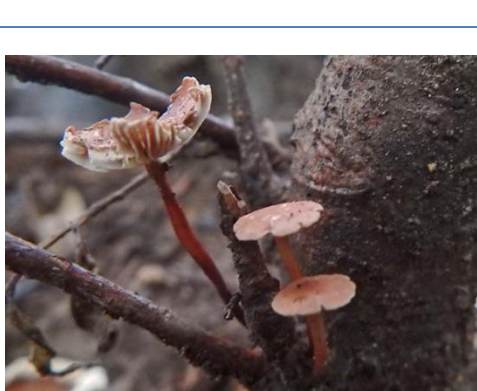
2016年 7月 17日 観察記録(続き)

和名	属名(新分類/旧分類)	科名(新分類/旧分類)
117 アンズタケ	アンズタケ属	アンズタケ科
118 アンズタケ属の一種	アンズタケ属	アンズタケ科
119 ヒナアンズタケ	アンズタケ属	アンズタケ科
120 ベニウスタケ	アンズタケ属	アンズタケ科
121 ハイロカレエダタケ近縁種	カレエダタケ属	カレエダタケ科
122 シロソウメンタケ	シロソウメンタケ属	シロソウメンタケ科
123 フサヒメホウキタケ	フサヒメホウキタケ属	フサヒメホウキタケ科/マツカサタケ科
124 チウロコタケ	キウロコタケ属	ウロコタケ科
125 チャウロコタケ	キウロコタケ属	ウロコタケ科
126 ミヤマチャウロコタケ	キウロコタケ属	ウロコタケ科
127 モミジウロコタケ	キウロコタケ属/カタウロコタケ属	ウロコタケ科
128 イボタケ属の一種	イボタケ属	イボタケ科
129 シックイタケ	ニカワオシロイタケ属	マクカワタケ科/サルノコシカケ科
130 ハチノスタケ	タマチヨレイタケ属/ハチノスタケ属	タマチヨレイタケ科
131 キオシロコタケ近縁種	タマチヨレイタケ属/オツネンタケモドキ属	タマチヨレイタケ科
132 ウチワタケ	ツヤウチワタケ属	タマチヨレイタケ科
133 ヒトクチャタケ	ヒトクチャタケ属	タマチヨレイタケ科
134 カワラタケ	シロアマタケ属/カワラタケ属	タマチヨレイタケ科
135 カイガラタケ	カイガラタケ属	タマチヨレイタケ科
136 シハイタケ	シハイタケ属	タマチヨレイタケ科
137 ハカワラタケ	シハイタケ属	タコウキン科(広義)
138 ウズラタケ	ウスキアナタケ属	タマチヨレイタケ科
139 カイメンタケ	カイメンタケ属	ツガサルノコシカケ科/サルノコシカケ科
140 ツガサルノコシカケ	ツガサルノコシカケ属	ツガサルノコシカケ科/サルノコシカケ科
141 コフキサルノコシカケ	マンネンタケ属	タマチヨレイタケ科/マンネンタケ科
142 ニッケイタケ	オツネンタケ属	タバコウロコタケ科
143 ネズミツチダマタケ	ロスビーベラ属	イグチ科
144 アカショウロ	ショウロ属	ショウロ科
145 オオショウロ	ショウロ属	ショウロ科
146 ツチグリ	ツチグリ属	ディプロシスティディウム科/ツチグリ科
147 ヒメカタショウロ	ニセショウロ属	ニセショウロ科
148 エリマキツチグリ	ヒメツチグリ属	ヒメツチグリ科
149 カゴタケ	カゴタケ属	アカカゴタケ科
150 シロキクラゲ目的一种?	?属	?科
151 ロウタケ	ロウタケ属	ロウタケ科/シロキクラゲ科
152 アラゲキクラゲ	キクラゲ属	キクラゲ科
153 テングノメシガイ属の一種	テングノメシガイ属	テングノメシガイ科
154 オチバナアカビョウタケ	ランツァア属	トウヒキンカクキン科/キンカクキン科
155 ニセキンカクアカビョウタケ	ディケファロスボラ属	ルトストロエミア科/キンカクキン科
156 アンボソノポリリュウタケ	ノポリリュウタケ属	ノポリリュウタケ科
157 クロノポリリュウタケ	ノポリリュウタケ属	ノポリリュウタケ科
158 ナガエノチャウンタケ	ノポリリュウタケ属	ノポリリュウタケ科
159 クロメロスボリウム属の一種	クロメロスボリウム属	チャウンタケ科
160 ハチタケ	オフィオコルディセプス属	オフィオコルディセプス科/バックカキン科
161 ツクツクボウシタケ	イサリア属	ノムシタケ科/スチルベラ科
162 クモタケ	ノムリア属	バックカキン科
163 アワタケヤドリ	ヒボミケス属	ニクザキン科/ヒボミケス科
※ <i>Sepeodium chrysospermum</i>	セペドニウム属	ニクザキン科/ヒボミケス科
※ シロウツボホコリ	ウツボホコリ属	ウツボホコリ科
※ マメホコリ	マメホコリ属	ドロホコリ科

【同定されたきのこの一部】

16. ニオイヒメホウライタケ *Marasmius scorodnius* (Fr.) Fr. 同定/和田(匠)

定点観察会初記録。アラカシの材上に子実体を形成していた。主な肉眼的特徴は、モノカレバタケ型で赤褐色の子実体を形成し、傘中央部は濃色、肉は強いニンニク臭を発することである。こうした性質から、今回採集された標本はニオイヒメホウライタケに肉眼的に似通っているといえるため、暫定的にニオイヒメホウライタケと同定した。



ニオイヒメホウライタケ

20. トサカオチエダタケ *Mycena spinosissima* (Sing.) Desjardin 同定/和田(匠)

定点観察会初記録。スギの材上に子実体を形成していた。子実体はクヌギタケ型で、微小なため、採集例は多くないが、恐らく国内に広く分布すると考えられる。主な肉眼的特徴は、白色粉状でクヌギタケ型の微小な子実体、淡黄色で脱落性の円錐突起に覆われる類球形の原基を形成し、傘表面において消失性の小鱗片に覆われることである。こうした性質から、今回採集された標本は肉眼的にトサカオチエダタケに類似しているといえるため、暫定的にトサカオチエダタケと同定した。



トサカオチエダタケ

文: 和田(匠)
 付箋記入者: 幸徳・和田(匠)・伊藤
 写真: 中嶋・和田(匠)・和田(貴)・難波・定点班
 写真編集: 和田(貴)
 リスト作成: 難波・中川(湧)
 HP作成: 奥田